

【 第8回 男子ユース世界選手権 】

2019年8月6日～8月18日 開催地:北マケドニア

試合結果報告 8月6日 (火)

JAPAN	vs	デンマーク
11	1st	18
12	2nd	12
	ex	
	ex	
23	TOTAL	30

個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
4	可児 大輝	2	2			4
6	窪田 礼央	0	0			0
7	安平 光佑	4	3			7
8	清水 裕翔	0	0			0
9	吉田 守一	0	0			0
11	藤川 翔大	2	0			2
12	矢村 裕斗	0	0			0
14	山口 直輝	0	0			0
16	高木 アレクサンダー	0	0			0
17	朝野 翔一郎	1	2			3
18	梶山 瑞生	0	2			2
20	石田 知輝	0	0			0
22	白石 竜聖	0	0			0
23	治田 大成	1	0			1
24	榎本 悠雅	0	1			1
25	蔦谷 大雅	1	2			3
TOTAL		11	12	0	0	23

戦況

世界選手権グループCで戦う日本代表は、デンマーク・マケドニア・アルゼンチン・バーレーン・ナイジェリアと同組。初戦は過去優勝3回を誇るデンマーク。序盤、デンマークはロングシュートやポストを絡めて攻める。日本は安平の連打、藤川のミドル、朝野の身体を張ったポストで応戦し、10分までは5-5の互角の展開。

サイズのあるデンマークDFに対し早いパスワークとワイドポジションで打開をはかるも、徐々に捕まるシーンが増える。安平からポストへのノールックパスがカットされ、速攻で失点。果敢にシュートを狙うも、デンマークGKに捌かれ、速攻を許すなど、前半は11-18の7点ビハインドで折り返す。

ハーフタイムでDFでは密集・数的優位状態を作ることとマークマンを明確にすることを確認して後半へ。DF陣が強度のあるファーストコンタクトで簡単にシュートを打たせない粘りを見せると、変わって入ったGK高木がサイドシュートをセーブ。リズムの出た日本は6連続得点で試合の主導権を握り、4点差まで詰め寄った所でデンマークがタイムアウト。

デンマークは、丁寧な2対2からロング、ポストで加点。日本は奮戦するものの、23-30でタイムアップとなった。後半は随所に日本の良さが現れ、DF・GK中心に良く戦えた部分があった。

次戦はアジア選手権決勝で敗れた宿敵・バーレーンである。デンマーク戦での経験・課題を糧にして何としてもポイントを勝ち取りたい。

報告記入者 :

吉田耕平